



三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン PAR-SC4UA (操作部)

ワイヤレスリモコンキット PAR-SK5TA (操作部+受光部キット)

ワイヤレスリモコン操作部 据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン用ワイヤレスリモコンの据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据え付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの。

- お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。



警告

改造、修理は絶対しない。

- 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

お客様自身で移設はしない。

- 据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。

- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。

- 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に十分に耐える所に確実に行う。

- 強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にを行う。

- 据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。



注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。

- 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。

- 壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。

- 感電、故障の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。

- 感電、故障の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。

- 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。

- 火災、故障の原因になることがあります。

次の場所への据付けは、避ける。

- ・可燃性ガスの洩れるおそれのあるところ
- ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生するところ
- ・機械油を使用するところ
- ・車両・船舶などを移動するものへの設置
- ・高周波を発生する機械を使用するところ
- ・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ・海浜地区等塩分の多いところ
- ・積雪の多いところ

濡れた手でボタンを操作しない。

- 感電、故障の原因になることがあります。

ボタンを先のとがった物で押さない。

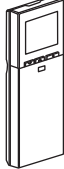
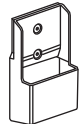
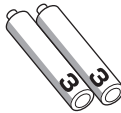


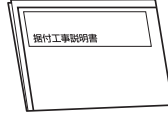
- 感電、故障の原因になることがあります。

病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。

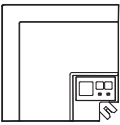

- インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

2 部品確認

箱の中には、次の部品が入っていますのでご確認ください。

ワイヤレスリモコン 操作部 1個	リモコンホルダー 1個	単3 乾電池 2個	タッピンネジ 3.5×16 2個	取扱説明書 1冊	ワイヤレスリモコン操作部 据付工事説明書(本紙) 1枚
					

※上記に加えてワイヤレスリモコンキット PAR-SK5TAの場合は、以下の部品が入っていますのでご確認ください。

ワイヤレスリモコン 受光部 1個	ワイヤレスリモコン受光部 据付工事説明書(別紙) 1枚
	

3 据付方法

1. 上ブタを引き抜き、付属の単3乾電池2個を入れて上ブタを取付けてください。
2. 付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後に、ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。
ワイヤレスリモコンは下記の場所を取付けてください。

- 直射日光の当たらない場所
- 近くに熱源のない場所
- ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
- ワイヤレスリモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
- 幼児の手が届かない場所

【お願い】

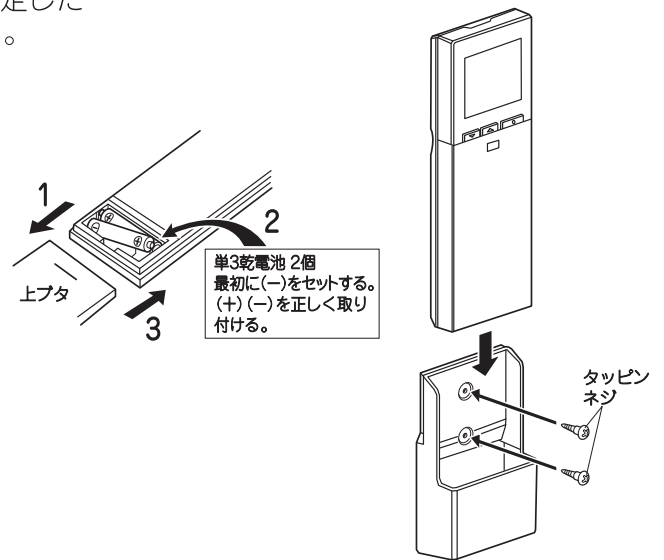
※室内に蛍光灯が取付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内ユニットが信号を受信することを確認した位置へ取付けてください。
室内ユニットが信号を受信すると“ピッ”と音がでます。

電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受付けない場合があります。

※受光距離は、直線で約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。

※テレビ、ラジオより1m以上離れた場所を取付けてください。
（画像の乱れや、雑音が生じることがあります。）

※本ワイヤレスリモコンは、受光アダプタ(MAタイプ)に使用できません。

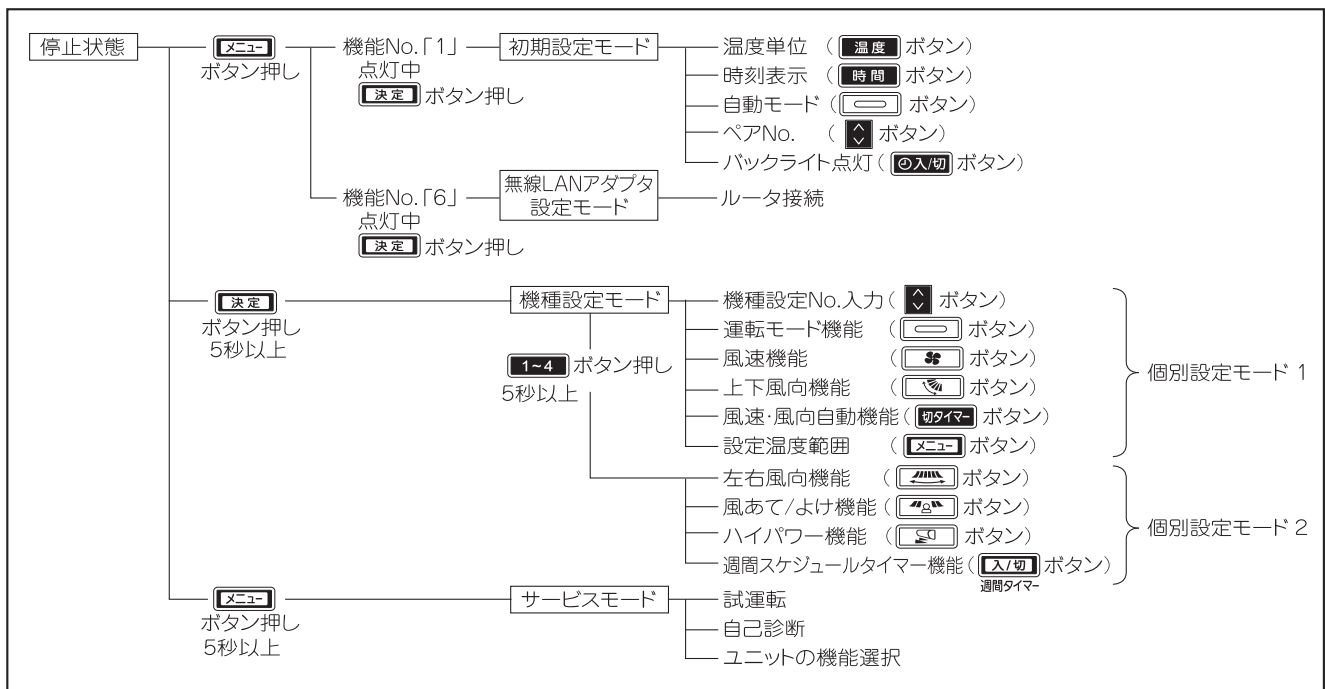


お 願 い

- 付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光が当たる場所、湯・油・蒸気が飛散する場所には据付けないでください。

4 各種の設定項目

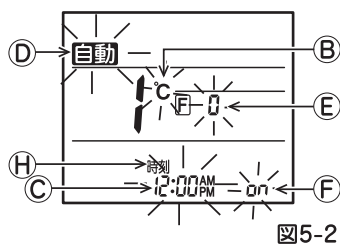
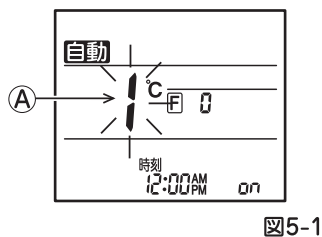
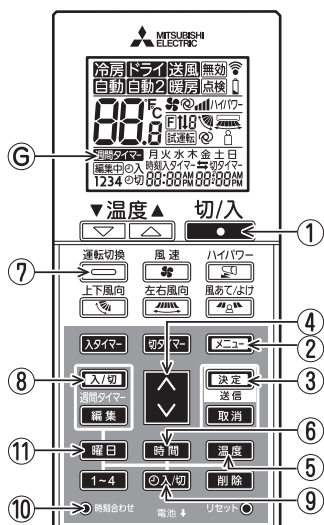
本機では下記の初期設定、操作機能の設定変更が可能です。



5 初期設定

初期設定では以下の内容を設定できます。

温度単位	℃/°F
時刻表示	12時間表示/24時間表示
自動モード	自動/デュアルオートモード
ペアNo.	0~3
バックライト点灯	する/しない



5-1 現在時刻を合わせる

- 電池を入れると時刻設定画面となり、時刻Hが点滅します。
- 上下 ボタン④を押して現在時刻を合わせてください。
- 曜日 ボタン⑪を押して現在の曜日を合わせてください。
- 時刻合わせボタン⑩を押し、現在時刻設定を終了します。

※時刻設定を行わないと使用できない機能があります。必ず時刻設定してください。

5-2 初期設定モード(機能選択画面)への移行のしかた

- 停止 ボタン①を押して停止にします。
 - 週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は、入切 ボタン⑧を押して無効にしてください。(週間タイマー⑥が消灯します。)
- メニュー ボタン②を押す。
 - 機能選択画面になり機能No.(A)が点滅します。(図5-1)
- 機能(A)が“1”になっていることを確認し、決定 ボタン③を押す。
 - 画面表示設定画面になります。(図5-2)

5-3 温度単位の変えかたB 工場出荷時：℃

- 温度 ボタン⑤を押す。
- 温度 ボタン⑤を押すごとに℃と°Fが切り替わります。
- ℃：温度を摂氏で表示します。
- °F：温度を華氏で表示します。

5-4 時刻表示の変えかたC 工場出荷時：12時間表示

- 時間 ボタン⑥を押す。
- 時間 ボタン⑥を押すごとに 12:00AM と 24:00 が切り替わります。
- 12:00AM：12時間で表示します。
- 24:00：24時間で表示します。

5-5 自動モードの変えかた① 工場出荷時：自動

ボタン⑦を押す。

● ボタン⑦を押すごとに **自動** と **自動2** が切り替わります。

自動：自動モードを通常の自動として操作します。

自動2：自動モードをデュアルオートモードとして操作します。

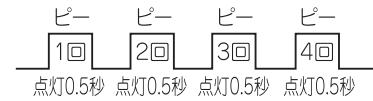
※室内ユニットのデュアルオートモードの機能の有無は、カタログまたは室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

※自動モードの機能がワイヤレスリモコンと製品側(室内ユニット、室外ユニット)側で異なっている場合は、

ワイヤレスリモコン操作時に以下のブザー音と受光部運転ランプでお知らせをします。

このときはワイヤレスリモコンの自動モードの設定を現在の設定からもう一方の設定に

切り替えてください。

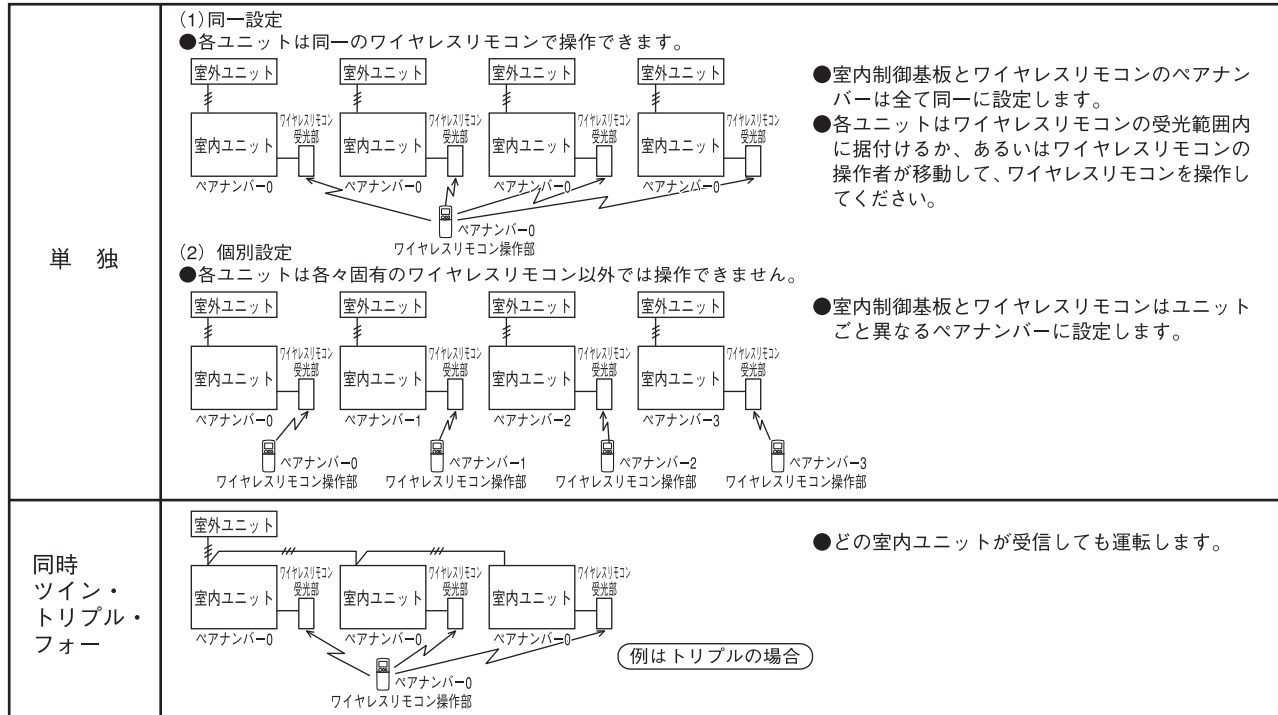


5-6 ペアナンバ設定② 工場出荷時：0

ボタン④を押す。

● ペアナンバ②を“0”～“3”の間で設定します。

● 設定例 (スリムエアコンの場合)



ワイヤレスリモコン側設定と室内ユニット側設定の対応表

	室内ユニット側の設定			
	スリムエアコン		マルチエアコン	
ワイヤレスリモコン側 ペアナンバ設定	室内制御基板のジャンパー線 (J41, J42) 設定		室内制御基板の SW22 設定	
0	切断せず		ON	ON
1	J41のみ切断		OFF	ON
2	J42のみ切断		ON	OFF
3	J41, J42ともに切断		OFF	OFF

5-7 バックライト点灯の変えかた③ 工場出荷時：ON(点灯)

ボタン⑨を押す。

● ボタン⑨を押すごとに **on** と **off** が切り替わります。

on：ボタン操作でバックライトが点灯します。

off：ボタン操作でバックライトが点灯しません。

5-8 設定の終了

ボタン③を押す。

● 機能No.(A)が点滅します。

ボタン②を押す。

● 初期設定モードが終了します。(停止状態になります)

6 機種設定方法

出荷設定から変更をする場合は、操作対象となる室内ユニットの機能を取扱説明書や技術資料などで確認し機種設定を行ってください。

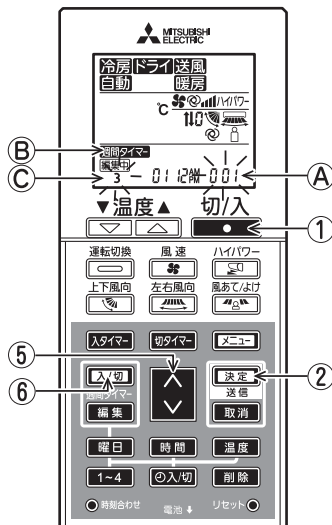


図6-1

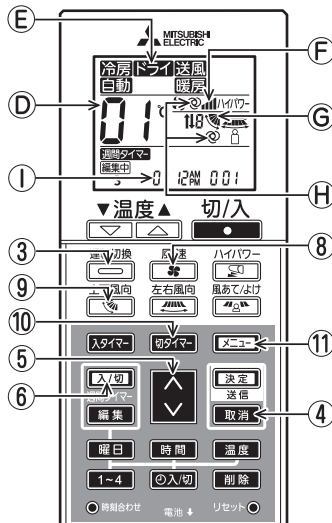


図6-2

6-1 機種設定モードへの移行 (図6-1)

1. **機種設定** ボタン①をして停止する。
●週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は **入/切** ボタン⑥を押して無効にしてください。(週間タイマー ⑥ が消灯します。)
2. **決定** ボタン②を5秒間長押しする。
●機種設定モードになります。(機種設定No.④が点滅表示)

6-2 機種設定No.入力

1. **機種設定** ボタン⑤を押す。
●操作対象室内ユニットに対応した機種設定No.を入力します。(工場出荷時は「001」です) 機種設定No.は室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

代表的な機種の種類設定No.一覧

	冷暖切換タイプ	冷房専用タイプ
PL-ZRP・EA形	001	161
PL-HRP・EA形	001	161
PL-ERP・EA形	001	161
PL-RP・GA形	001	161
PM-RP・FA形	001	161
PM-HRP・FA形	001	161
PC-RP・KA形	001	161
PC-RP・KAL形	001	161
PC-RP・HA形	019	179
PK-RP・LA形	001	161
PK-RP・KA形	002	162
PS-RP・KA形	022	182
PL-RP・LA形	001	161
PD-RP・GA形	018	178
PE-RP・DA形	018	178
PC-RP・BA形	019	179
PC-RP・CA形	011	171

※機種設定No.により設定される機能は【風速】、【上下風向】、【運転モード】です。本機能以外を変更する場合や、室内ユニットの取扱説明書に機種設定No.の記載がない場合は、以降の個別設定モードに従い設定を行なってください。

6-3 個別設定モード1

操作対象室内ユニットの機能に応じて、項目別に機種設定を行うこともできます。

1) 【運転モード】機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

1. **運転モード** ボタン③を押す。
●運転モード⑤Eが点滅します。
2. **機種設定** ボタン⑤を押して、設定番号④Dを設定してください。

運転モード設定⑤E	設定番号④D	運転モード設定⑤E	設定番号④D
冷房ドライ送風 自動 暖房	01	冷房 送風 自動 暖房	05
冷房ドライ 自動 暖房	02	冷房ドライ送風	06
冷房ドライ送風 自動 暖房	03	冷房 送風	07
冷房 送風 暖房	04		

※間違えた場合は **取消** ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

2) 【風速】機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

1. **風速** ボタン⑧を押す。
●風速⑥Fが点滅します。
2. **機種設定** ボタン⑤を押して、設定番号④Dを設定してください。

風速設定⑥F	設定番号④D
🌀 (4速)	01
🌀 (3速)	02
🌀 (2速)	03
🌀 (1速,無)	04

※間違えた場合は **取消** ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

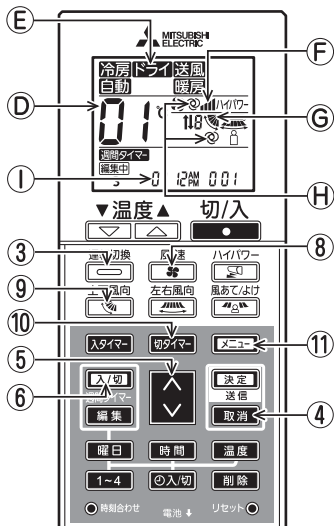


図6-2

3) 【上下風向】機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

1. ボタン⑩を押す。
●上下風向⑥が点滅します。
2. ボタン⑤を押して、設定番号⑩を設定してください。

上下風向設定⑥		設定番号⑩
風向自動有の時	風向自動無の時	
(ペーン有/スイング有)	(ペーン有/スイング有)	01
(ペーン有/スイング無)	(ペーン有/スイング無)	02
表示無(ペーン無)	表示無(ペーン無)	03

※間違えた場合は ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

4) 【風速・風向自動】機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号02])

1. ボタン⑩を押す。
●風速、風向の自動⑧が点滅します。(2か所)
2. ボタン⑤を押して、設定番号⑩を設定してください。

風向・風速自動設定⑧	設定番号⑩
表示無(無)	01
(有)	02

※間違えた場合は ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

5) 【設定温度範囲】設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

1. ボタン⑪を押す。
●設定温度範囲設定No.①が点滅します。
2. ボタン⑤を押して、設定番号⑩を設定してください。

設定温度範囲設定①		設定番号⑩
01 (標準)	冷房/ドライ : 19~30℃(67~87°F) 暖房 : 17~28℃(63~83°F) 自動 : 19~28℃(67~83°F)	01
02	冷房/ドライ : 19~30℃(67~87°F) 暖房 : 10~28℃(50~83°F) 自動 : 19~28℃(67~83°F)	02

※間違えた場合は ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

※上記標準以外の設定温度範囲設定にした場合、その温度範囲に対応していない機種では設定できません。対応有無については、カタログまたは空調機本体の据付工事説明書・取扱説明書をご確認ください。

6-4 設定の終了

ボタン②を5秒間長押しする。

●個別設定モード1が終了します。(停止状態になります)

6-5 個別設定モード2

1) 個別設定モードへ2への移行

6-1項(機種設定モードへの移行)を行った後、 ボタン⑦を5秒間長押しする。

●パターンNo.③が点滅表示(図6-3)

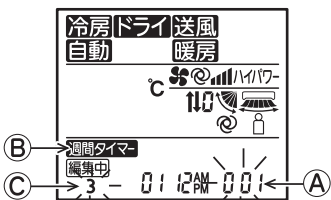


図6-3

2) 【左右風向】機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02])

1. ボタン⑫を押す。
●左右風向設定④が点滅します。
2. ボタン⑤を押して、設定番号⑩を設定してください。

左右風向設定④	設定番号⑩
表示無(無)	01
(有)	02

※設定番号03は選択しないでください。

※間違えた場合は ボタン④を押してください。

機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

※床置(PS-RP、KA)機種など、ルーバー機能がある室内ユニットに使用する場合は、【左右風向】機能を無(設定番号01)にしてください。

3) 【風あて/よけ】機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02])

1. ボタン⑬を押す。
●風あて/よけ④が点滅します。
2. ボタン⑤を押して、設定番号⑩を設定してください。

風あて/よけ設定④	設定番号⑩
表示無(無)	01
(有)	02

※間違えた場合は ボタン④を押してください。

機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

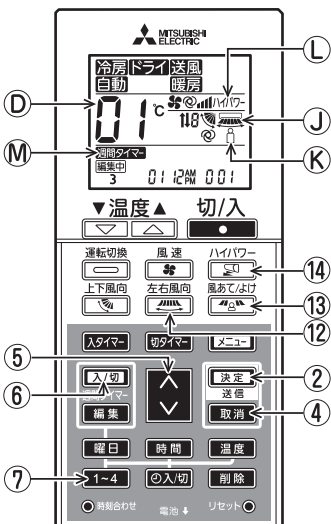


図6-4

4) 【ハイパワー】機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02])

1. ボタン⑩を押す。
●ハイパワー①が点滅します。
2. ボタン⑤を押して、設定番号⑩を設定してください。

ハイパワー設定①	設定番号⑩
表示無(無)	01
ハイパワー(有)	02

※間違えた場合は ボタン④を押してください。

機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

5) 【週間スケジュールタイマー】機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02])

1. ボタン⑥を押す。
●週間タイマー②が点滅します。
2. ボタン⑤を押して、設定番号⑩を設定してください。

週間スケジュールタイマー設定②	設定番号⑩
表示無(無)	01
週間タイマー(有)	02

※間違えた場合は ボタン④を押してください。

機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

6-6 設定の終了

ボタン②を5秒間長押しする。

- 個別設定モード2が終了します。(停止状態になります)

7 サービスモード

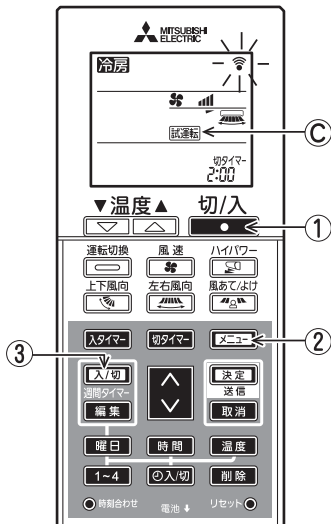


図7-1

7-1 試運転

1. ボタン①をして停止にします。
●週間スケジュールが有効になっている場合は ボタン③を押して無効にしてください。
(週間タイマーが消灯します。)
2. ボタン②を5秒間長押しする。
●点検④が点灯し自己診断モードになります。(図7-2)
3. 冷媒アドレス⑤が“00”になっていることを確認し、 ボタン②を押す。
●試運転⑥が点灯し試運転モードになります。(図7-1)
4. 以下のボタン操作で試運転を開始
 : 運転モードを冷房⇄暖房を切換えて試運転を開始
 : 風速を切換えて試運転を開始
 : 上下風向を切換えて試運転を開始
 : 左右風向を切換えて試運転を開始
 : 試運転を開始
5. 試運転の終了
 - ・ ボタン①で終了します。
 - ・ 2時間経過で停止信号を送信します。

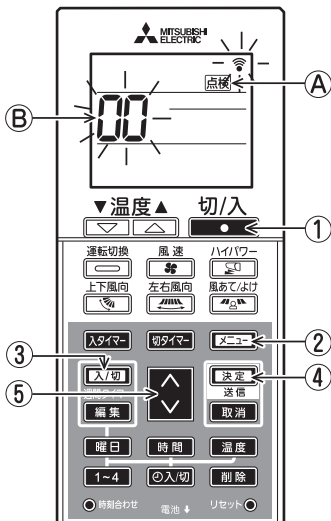


図7-2

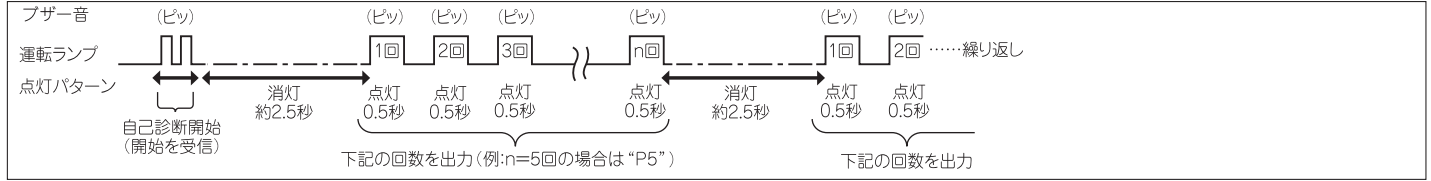
7-2 自己診断(図7-2)

1. ボタン①をして停止にします。
●週間スケジュールが有効になっている場合は ボタン③を押して無効にしてください。
(週間タイマーが消灯します。)
2. ボタン②を5秒間長押しする。
●点検④が点灯し自己診断モードになります。
3. ボタン⑤を押して自己診断を行う室内ユニットの冷媒アドレス(M-NETアドレス)に⑤を合わせる。
※アドレス表示は、スリムエアコンの場合は冷媒アドレス、マルチエアコンの場合はM-NETアドレスとなります。
4. ボタン④を押す。
●異常がある場合、室内ユニットからブザーの断続音・運転ランプの点滅により点検コードを出力します。(最新の異常が出力されます。)
5. ボタン①を押す。
●点検④と冷媒アドレス(M-NETアドレス)⑤が消灯し、自己診断モードが終了します。

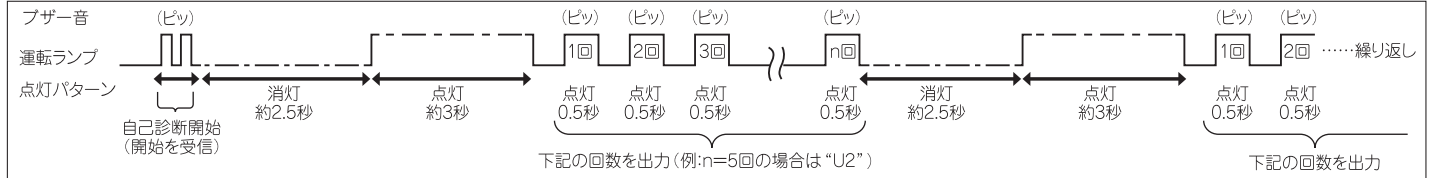
点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

- ※ 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
- ※ 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力“ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）”の場合は、冷媒アドレス（M-NETアドレス）の指定が間違っています。

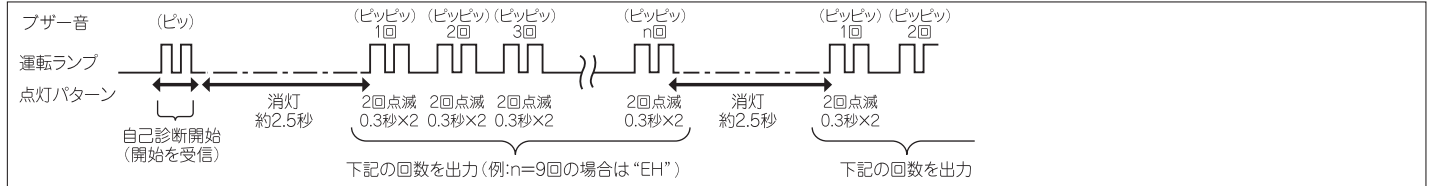
【出力パターンA】



【出力パターンB】



【出力パターンC】



【出力パターンA】 室内ユニットが検出する異常

ブザー音回数 運転ランプ回数	点検コード	不 具 合 内 容	備 考
1回	P1	吸込センサー異常	
2回	P2, P9	配管（液管または二相管）センサー異常	
3回	E6, E7	室内ユニット←室内ユニット間の通信異常	
4回	P4	ドレンセンサー異常、ドレンフロートスイッチコネクタ外れ	
5回	P5, PA	ドレンオーバーフロー保護動作/漏水異常	
6回	P6	凍結保護動作（冷房時）/過昇保護動作（暖房時）	
7回	EE	組合わせ異常（システム異常）	
8回	P8	配管温度異常	
9回	E4	ワイヤードリモコン←室内ユニット間の通信異常	
10回	—	—	
11回	Pb	室内ファンモータ異常	
12回	Fb	室内制御系異常（メモリー異常、その他）	
14回	PL	冷媒回路異常	

【出力パターンB】 室内ユニット以外（室外ユニット、その他）が検出する異常

ブザー音回数 運転ランプ回数	点検コード	不 具 合 内 容	備 考
1回	E9	室内ユニット←室外ユニット間の通信異常	詳細は室外基板のLED表示を確認ください。
2回	UP	過電流遮断	
3回	U3, U4	室外サーミスター系異常	
4回	UF	圧縮機過電流遮断（ロック）異常	
5回	U2	吐出温度異常/49C 動作/冷媒不足異常	
6回	U1, Ud	高圧圧力異常（63H 動作）/過昇保護（過負荷運転保護/送風機異常）	
7回	U5	放熱板温度異常	
8回	U8	室外ファン保護停止	
9回	U6	圧縮機過電流遮断（過負荷）/パワーモジュール異常	
10回	U7	低吐出スーパーヒート異常	
11回	U9, UH	電圧異常/電流センサー異常	
12回	—	—	
13回	—	—	
14回	その他	その他異常（室外基板LEDを確認ください）	

【出力パターンC】 室内ユニットの別売部品関連の異常

ブザー音回数 運転ランプ回数	点検コード	不 具 合 内 容	備 考
1回	PF	ダストボックス外れ検出 または フィルタ位置異常（フィルタ自動清掃パネル）	
2回	PH	オゾン出力回路異常（フィルタ自動清掃パネル）	
9回	EH	パネル通信異常（フィルタ自動清掃パネル/自動昇降パネル）	

【出力パターンA】 異常ユニット(属性)が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニットの場合

【出力パターンB】 異常ユニット(属性)が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニット以外(室外ユニット,その他)の場合

ブザー音 回数 運転ランプ回数	M-NET 点検コード	備 考
1回	1000~1999	ワイヤードリモコン、システムコントローラを併用されていない場合、異常履歴の点検コード詳細は、室外基板のLED表示にて確認することができます。 室外ユニットの異常履歴確認方法は、室外ユニットのサービスハンドブックを参照ください。
2回	2000~2999	
3回	3000~3999	
4回	4000~4999	
5回	5000~5999	
6回	6000~6999	
7回	7000~7999	
8回	0~999	

自己診断中は、最新の異常を発生した室内ユニットのみファンを停止し、その他の室内ユニットは送風運転を開始します。その時、同一冷媒の室外ユニットのファンは、3秒ON、5秒OFFの間欠運転を3分間します。異常発生ユニットがどこにあるのかわかりたい場合はこれにより確認してください。

尚、異常発生ユニットが室内ユニット以外(室外ユニット、MELANS上位コントローラ)などの場合は、同一冷媒内の全室内ユニットがファンを停止し、室外ユニットは間欠運転(3分間)をします。

7-3 ユニットの機能選択

本設定はスリムエアコンの場合の設定方法です。マルチエアコンの場合は、室内及び室外制御基板上のディップスイッチで設定を行います。ディップスイッチの設定方法はマルチエアコンの技術資料などを参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。

各ユニットの機能選択の対応項目(モード番号)については、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレスの指定はできません。

<機能選択の流れ>

1. **●** ボタン①を押して停止にします。
● 週間スケジュールが有効になっている場合は **【入/切】** ボタン③を押して無効にしてください。(週間タイマーが消灯します。)
2. **【メニュー】** ボタン②を5秒間長押しする。
● **【点検】** (A)が点灯し自己診断モードになります。
3. **【↓】** ボタン⑥を押してアドレスを設定し、ユニットの機能選択モードとする。(図7-3)
モード番号01~28の設定する場合は、アドレス(B)を「50」に合わせる。
モード番号31~66の設定する場合は、アドレス(B)を「52」に合わせる。
● ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **【決定】** ボタン④を押します。(号機(C)が点滅します)
4. **【↓】** ボタン⑥を押して号機 を設定対象ユニットに合わせる。(図7-4)
● ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **【決定】** ボタン④を押します。(モード番号(D)が点滅します)
※号機を受信したことで、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。
機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのかわかりたい場合は、これにより確認ください。
なお、号機が“00” “AL” の場合は、同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転になります。
※選択できない号機を受信した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力されます。
正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは“ピピッ”と出力されます。
この場合は、**【取消】** ボタン⑤を押して、号機(C)が点滅表示している状態として、再度、号機を入力直してください。
5. **【↓】** ボタン⑥を押してモード番号(D)を合わせる。(図7-4)
● ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **【決定】** ボタン④を押します。(設定番号(E)が点滅します)
この時、ブザー音と運転ランプの点滅により、選択したモード番号に対する現在の設定番号を出力します。
現在の設定値=1の時：ピー(1秒)×1回
=2の時：ピー(1秒)×2回
=3の時：ピー(1秒)×3回
※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力されます。
正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは“ピピッ”と出力されます。
この場合は、**【取消】** ボタン⑤を押して、モード番号(D)が点滅表示している状態として、再度、モード番号を入力直してください。
6. **【↓】** ボタン⑥を押して設定番号(E)を選択する。(図7-4)
● ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **【決定】** ボタン④を押します。(モード番号(D)が点滅します)
この時、ブザー音と運転ランプの点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。
現在の設定値=1の時：ピーピー(0.4秒+0.4秒)×1回
=2の時：ピーピー(0.4秒+0.4秒)×2回
=3の時：ピーピー(0.4秒+0.4秒)×3回
※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
※正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは“ピピッ”と出力されます。
この場合は、**【取消】** ボタン⑤を押して、号機(C)が点滅表示している状態として、再度、5項からやり直してください。

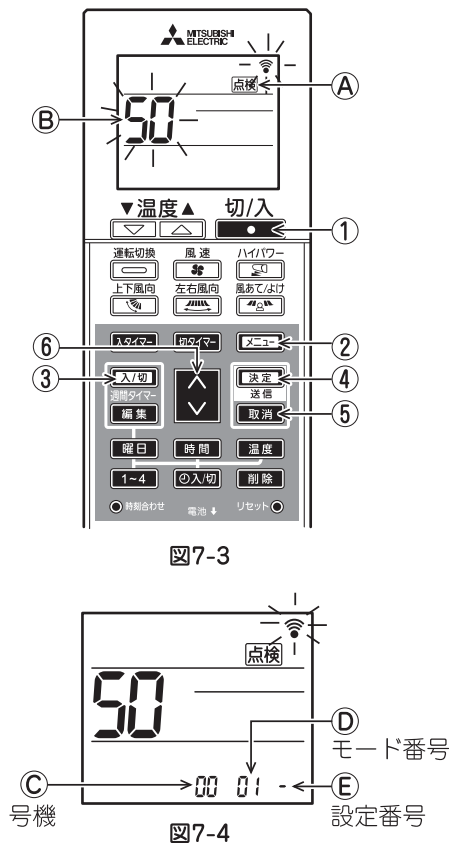


図7-3

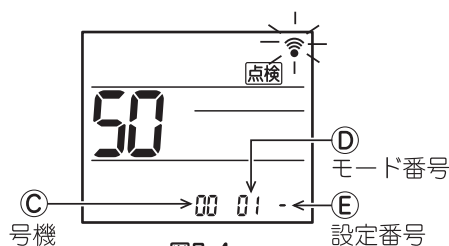


図7-4

- 室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモード番号の設定をする場合は5、6項を繰り返してください。
- 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は **取消** ボタン⑤を押して、号機Cが点滅表示している状態にし、4～6項を繰り返してください。
- ボタン①を押して機能選択を終了します。

8 無線LANアダプタ設定方法

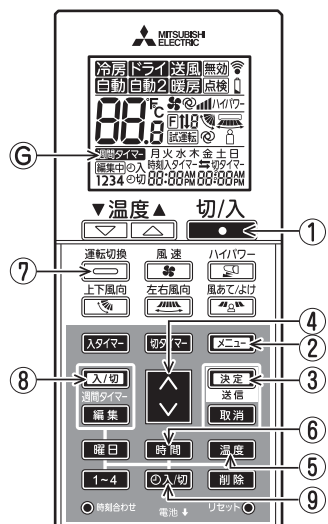


図8-1

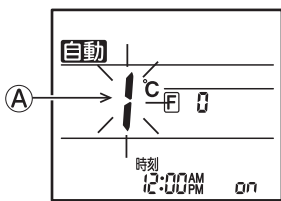


図8-2

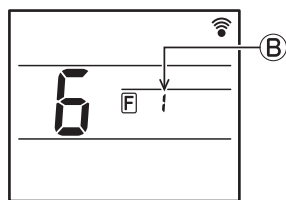




図8-3

- ボタン①を押して停止にします。
●週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は **入/切** ボタン⑧を押して無効にしてください。(週間タイマー ⑥が消灯します)
- メニュー** ボタン②を押す。
●機能選択画面になり機能No.(A)が点滅します。(図8-2)
- ↓** ボタン④を押して機能No.(A)で機能No. 6を選択し、**決定** ボタン③を押す。
●無線LANアダプタ設定画面になります。(図8-3)
- ルータ接続
↓ ボタン④を押して設定No.(B)で操作内容を選択し、**決定** ボタン③を押す。
- 設定の終了
メニュー ボタン②を2回押す。
●無線LANアダプタ設定モードが終了します。

【操作内容一覧】

設定No.	操作内容	説明
1	ルーター接続 (WPS)	WPS 機能を使用してルーターと接続する場合に選択します。設定 No を選択し決定ボタンを押した後、2分以内にルーターの WPS ボタンを押して設定を完了させてください。 設定中は室内ユニットの受光部運転ランプが以下のように点滅します。 (3 秒点灯→ 2 回点滅→ 2.5 秒消灯 の繰り返し) ※ 設定中は室内ユニットのブザー音は鳴りません。
2	ルーター接続 (AP)	無線 LAN アダプタを AP モードにして接続設定する場合に選択します。設定 No を選択し決定ボタンを押した後、10分以内にスマホアプリ (MELflo) を使用してネットワーク設定を完了させてください。 設定中は室内ユニットの受光部運転ランプが以下のように点滅します。 (3 秒点灯→ 1 回点滅→ 2.5 秒消灯 の繰り返し) ※ 設定中は室内ユニットのブザー音は鳴りません。
3	無線LANアダプタ再起動	ルーター接続が正常にできない場合など、無線LANアダプタを再起動するときに選択します。再起動してから30秒以上たったあと、再度接続設定を行ってください。 無線 LAN アダプタ再起動操作時、以下の室内ユニットのブザー音と受光部運転ランプでお知らせします。 
4	無線LANアダプタ初期化	エアコンの移設、廃却や使用者を変更する場合など、無線LANアダプタを工場出荷状態にリセットするときに選択します。 無線 LAN アダプタ初期化操作時、以下の室内ユニットのブザー音と受光部運転ランプでお知らせします。 

無線LANアダプタとルーターの接続が成功時/失敗時、以下のブザー音と受光部運転ランプでお知らせします。



お 願 い

- 機能選択終了後、約1分間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。
- 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を室内ユニット据付工事説明書の機能選択項目表のチェック欄に○印で記入してください。

三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1 ☎(054) 285-1111 (代表)

BH79N283H04